

スペシャルオリンピックス(SO)とは、知的発達障害のある人たちに、日々のトレーニングと競技会を通じて、自立と社会参加をサポートする国際的なスポーツ組織です。SOでは、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障害のある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーと一緒に活動を支えています。SOの活動は、すべて非営利活動で、運営はボランティアの方々の積極的な意思と、善意の寄付によって進められています。現在、世界170ヶ国以上で370万人のアスリートと85万人以上のボランティアが日常的なスポーツ・トレーニングに楽しく参加しています。競技会は地区レベルから世界レベルまであり、世界大会は夏季・冬季共に4年毎に開かれています。国内でも全ての都道府県に普及していて、富山では現在、約110名のアスリート会員が9つの競技種目に取り組んでいます。



11月27日(日)、2012年第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島トーチラン in 富山の最終区間の力走

■今季のエッセイ

スペシャルオリンピックスが与えてくれるもの

「国家があなたに何をしてくれるかではなく、あなたが国家に対して何ができるかを考えてほしい」これは、故ケネディ元米大統領の就任演説の中の一節です。そのケネディ氏の妹、ユニス・ケネディ・シュライバーが自宅の庭で始めたスペシャルオリンピックス(SO)は、40年以上経った今、世界170か国以上でその活動が行われています。

私自身もSON・富山の活動に参加してから約7年が経過しました。最初は「ほんのちょっとのお手伝いだけ」というつもりで始めたこの活動に、これほどまで長く、深く私を関わらせたものは何でしょうか。それは、SOがその活動を通じて私に与えてくれる、たくさんの方との出会い、感動、充実感などの様々な「無形の財産」ではないかと思えます。そして、この「無形の財産」をSOでより多く得るための一つの法則に私は気付きました。その法則とは…。

「SOが私に何を与えてくれるかではなく、SOの理念の達成のために私に何ができるかを考えること」です。ん？ この文章どこかで見たような…。そうで

スポーツプログラム委員長 戸田武宏

す！冒頭のケネディ氏の演説の精神に似ているのです。ケネディ氏とSOには、こんな共通点もあったのですね。

SOはスポーツトレーニングや競技会を通じて知的発達障害のある方たちの自立や社会参加を促すだけでなく、地域社会にも働きかけ、知的発達障害者を理解し、受け入れるようにするという理念があります。その理念の達成の道のりはまだまだ長く、険しいかもしれません。しかし、道の途中にある一つひとつのプログラムや競技会、イベントに力を注げば注ぐほど、これからもきっと多くの感動や充実感が得られることと思います。

さあ、皆さん！SOの活動にもう一步深く踏み込んでみませんか。そして、一人でも多くの方たちと一緒に参加してみようではありませんか。その時に得られる「無形の財産」は私たちの人生をきっとより輝かしく素晴らしいものにしてくれると信じています。どうか、よろしく願いいたします。

■トーチラン in 富山

11月27日(日)、富山で8回目となるトーチランを開催しました。場所は富山市中心部の商店街、グランドプラザ。NG 福島に出場する28人の選手団を激励するため、今回も大勢の人たちが応援くださいました。トーチランには行政からの支援のほか、富山市消防団や大谷製鉄・ソニー生命さんなどの企業や、さまざまなボランティア団体の皆さまが毎回参加してくださいます。

今回は、トーチランの後に、日ごろから SON・富山



「夢にむかって」作曲者の道下和美先生

を音楽で応援してくださっている、高岡市を中心に活動しているブラスセッションの「ホタルイカ」さんが演奏してくれました。また、文化(音楽)プログラム講師の道下和美先生が、SON・富山の応援歌「夢にむかって」を作曲され、ホタルイカさんのステージの間でお披露目でした。大勢のボランティアに支えられて、SON・富山は一步一步その輪を広げています。選手団には、福島の地で、日ごろのトレーニング成果を思う存分に発揮してもらいたいものです。



アスリートと演奏するホタルイカ

■バスケットボールの全国大会

9月23日から25日までの3日間、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われたスペシャルオリンピックス日本2011年第1回全国バスケットボール大会に、アスリート10人、コーチ3人で参加しました。チームとして初めてとなる全国規模の競技会への参加でしたが、アスリートはみんな自分の持てる力を発揮し、また試合を重ねるたびに大きく成長してい



ったように思います。

参加全20チームが5のディビジョンに分かれて行われた本大会。ディビジョン3に入った富山イエローファイターズは、1勝2敗で4チーム中3位。ベンチを出ていくときの力強い表情や試合後に宿舎や食堂で見た真剣な表情からは、チームとして、結果以上に収穫の多い大会だったと実感しました。



■卓球競技会

11月20日(日)、不二越体育館で、アスリート14人が、個人技能5ディビジョン、シングルス6ディビジョンで日ごろの練習成果を競いました。プログラムスタート時から継続して参加している7人のアスリートを含め、彼らの上達には目を見張るものがあります。4年前に初めてラケットを握ったアスリートが、今ではコーチと互角にラリーを応酬し、積極的にスマッシュを決めようとする様子が、よく見られました。

開会式では、藤井裕久 SON・富山会長が、「日ごろの練習の成果を思う存分発揮して頑張ってください」と挨拶され、方堂絵理奈さんが宣誓しました。午前中に予選の後、スタッフが昼

食時間にディビジョニングを決定し、午後からは決勝。そのほかにオープン参加のシングルのトーナメント戦もあつたりで盛りだくさんの競技会になりました。閉会式では、各種の表彰、戸田スポーツプログラム委員長による講評、林慎二大会委員長の閉会宣言のあと、サンキューパーティが開かれました。



コーチとラリーの応酬

■2011年第6回スペシャルオリンピックス日本・富山ボウリング競技会

10月23日(日)、クアトロブーム小杉ボウリング場で、SON・新潟と合同による卓球競技会が開催され、両地区で49人のアスリートが、この日に向けて練習してきた成果を思う存分に発揮するべくカー杯がんばりました。両チームのファミリーも熱く応援し、表彰式では一人ひとりがメダルをかけてもらって嬉し

そうな顔でした。

昼食を挟んでの第2部は、ボランティアとファミリーによる親睦ボウリング大会です。ここでも熱い戦いがあり、そして楽しそうな輪ができあがりしました。最後に、参加者全員で記念撮影。新潟チームの皆さんも、お疲れ様でした。



全員で記念撮影



新潟のアスリートにもメダルが授与されました

■陸上競技会

9月24日(土)、陸上プログラムの競技会が高岡市城光寺陸上競技場で行われました。

今までの暑さと違い、今日は秋晴れのさわやかな天

気のもと競技会が行われました。今回、都合が悪く欠席したアスリートが多数いましたが、参加アスリートたちはとても張り切っていました。



好記録も出て、後ろに並ぶアスリートから「すげえ!」という声が



メダル授与式

■サッカー競技会

11月5日(土)、大島中央公園コミュニティ広場でサッカー競技会が行われました。アスリート10人が参加し、コーチ9人に加え、今年もFCひがしから中学1年の21人とコーチ2人が参加してくださって盛り上げてくれました。開会式の後、個人競技のドリブル、パス、シュートが行われ、アスリートは大きな声援に励ま

されながら真剣に取り組みました。どのアスリートも確実にボールさばきが上達しています。ゲームでは、時々ゴール方向を間違えたりはしますが、ボールを追いかけ、奪い、コントロールし、パスやシュートをするといった一連の動きがだいぶ上手になってきました。最後に表彰式と閉会式が行われ、無事終了しました。



確実にうまくなったアスリート



表彰後の万歳

■テニスのお試しプログラム

11月19日(土)、アスリートとパートナー合わせて14人が参加し、不二越体育館で開催されました。ヘッドコーチは、ソニー生命の中井弘之さんです。中井さんがテニス仲間に声をかけて下さって7人のコーチも集まってくださいました。

アスリートのほとんどがラケットを握るのも初めてで、みんな苦労していましたが、少しずつできるよ



ラケットの使い方を教わります

うになり、最後にはラリーらしきものが続けられたアスリートもいました。1回でこれだけ上達するので、来年度のプログラムが楽しみです。

富山市テニス協会理事長の中西様よりラケット20本、日本女子テニス連盟富山県支部長の小柴様よりボール100個をご提供いただきました。ありがとうございました。



白いキャップの中井コーチ

■恒例のバーベキュー

10月16日 SON 富山の交流 BBQ が行われました。毎年恒例となったこのBBQ。アスリートやファミリ

ーのみならず、ボランティアの方の参加もあって、大盛り上がりでした。



焼きそばを大きな口でほおばります



しっぽとりゲームのスタートです

■水泳競技会

11月13日、高岡市営長慶寺室内プールで富山・高岡合同の水泳競技会が開催され、富山会場から8人、高岡会場から21人のアスリートの参加でした。宇於崎ヘッドコーチの開会宣言、戸田スポーツプログラム委員長の激励の言葉と続き、酒井競技委員長から競技上の注意の説明がありました。石井純・宮下亮両君で、恒例

のアスリート宣誓です。

高岡市水泳協会のボランティアの皆さんには、いつも優しくアスリートを指導していただき、本当にお世話になっています。競技が終わり、各ディビジョンの表彰とSP委員長賞の授与が行われました。



アスリート宣誓



うれしい表彰式

■ 賛助団体紹介

高岡ライオンズクラブ

ライオンズクラブの活動姿勢は、「友愛と相互理解」の心をもって「我々は奉仕する」です。

高岡ライオンズクラブさんは、県内では富山に次いで最も古く設立されたクラブの一つで、アメリカ合衆国で発祥したライオンズクラブが生誕百周年を迎える2017年に60周年を迎えるという由緒あるクラブです。

今年度の運営方針は、会員相互に情報の共有を図り、風通しのよいクラブ運営を行うということで、明るく楽しい活動を続けておられます。以前から、障害者福祉への支援として会員自らが高岡市きずな学園などに出向いて交流しています。子供たちと直接、触れ合う中で、「障害児が体全体を使って喜びを表す姿に達成感と充実感を味わうことができる」とのことでした。

11月4日の例会では、2歳でポリオを発症した久木直子さんがゲストで、「私が生きてきた道」について講演されました。宮重清会長からは、「スペシャルオリンピックスの活動がもっともっと世間に認知されるよう、私たちも応援していきたい」と励ましていただきました。



例会の様子



宮重清会長(右)と室谷芳隆監事

■ ボランティアの声

参加者の声

本年も当協会の会員である佐野徹郎、此川昭次・岩坂邦男・吉田豊久・駒井進一、そして私の6人でアスリートの指導に関わらせていただきました。走る・跳ぶ・投げるというスポーツの基本である陸上競技は、1秒・1cmを競うものです。日本陸連公認の城光寺陸上競技場での記録は、世界や国内の記録と同等に比較できるものです。アスリートは自分の持つ記録を覚えていて、少しでも記録が伸びると大変喜んでくれます。指導する者としても彼らの純粋な気持ちを感じられ、一緒になって喜び、嬉しく思います。

トレーニング8回という少ない機会の中、指

高岡市陸上競技協会理事長 金森 勝

導力のなさを反省し模索する、ことを繰り返してきましたが、松田さんはじめファミリーの熱心さには感銘を受けます。陸上競技は自分の努力が数値で表れますから年を重ねても楽しみながら続けていけます。アスリートの皆さんには、チャンスがあればどのような大会でも積極的に参加されればと思います。競技会が終わったあと、心のもった手作りの感謝状とクッキーをいただき、関わらせていただいた者一同、感激しました。ありがとうございました。



■ 2011年第4回スペシャルオリンピックス日本・石川夏季地区大会

2011年9月11日、10月9日の両日、SON・石川主催の地区大会に水泳8人、ボウリング6人のアスリートが参加しました。金沢市営陸上競技場で開会式があり、SON・富山の水泳選手団は石川と福井の選手団とともに元気に入場しました。開会式終了後、水泳の選手団は金沢市営総合プール会議室でヘルシーアスリートプログラムに参加。内科・歯科等医師や薬剤師による相談と健康状態のチェックを受けました。

その後、水泳競技が開催され5種目12競技で日々のトレーニングの成果を発揮しました。登録したディビジョンのタイムを超えたアスリートが居て、予選なしで競技に臨む難しさを実感しました。アスリートはそれぞれがもてる力を出したとの満足感を味わったと思いました。SON・石川の大会関係者の皆さま、ありがとうございました。



入場する水泳のアスリート



表彰式の富山のアスリート

プログラムの様子説明（陸上競技）

●陸上競技の特徴

高岡市宮城光寺陸上競技場をメイン会場に、周辺のサブグラウンドや駐車場も使って行われます。競技場は広いため、他のプログラムと違って会場をS0で貸し切りにすることはできません。別の利用者とも、お互いに挨拶を交わして仲良く使用しています。健常なアスリートの

●プログラムの練習内容

陸上競技は、特別な道具は一切必要ありません。トレーニングウェアとシューズをはいて、そのまま参加できます。ルールも単純で、リレー以外は個人競技なので、「チームプレーはどれも苦手」という方、マイペースな方には是非お薦めのプログラムです。タイム測定も、ほとんどのアスリートが回を重ねるごとに速くなっていくので、上達していくのが楽しみになっています。

プログラム練習は、まず担当コーチから今日の練習メニューを聞き、アップランニング、準備運動、流し走行を行ってから、メインの練習に入ります。



速い走りやきれいなフォームを間近で見ることができるので、とてもよい刺激になっています。2009年度からは、高岡市陸上競技協会の方々にご指導いただき、より本格的なトレーニングができるようになりました。

（主な種目）

- ・50メートル走、100メートル走
- ・立ち幅跳び
- ・テニスボール投げ
- ・リレー
- ・持久走

屋外での競技のため、悪天候では延期になることもあります。真夏の暑い時期でも、周囲を二上山の緑に囲まれているせいもあり、開始時刻を15時からにして、比較的過ごし易い環境で実施しています。



■冬季プログラムについて

富山では、フロアホッケーという、体育館で行なうアイスホッケーのような競技を実施しています。フェルト製のパックを木製のスティックで操り、相手のゴールを目指します。フロアホッケーは、スペシャルオリンピックスで盛んに行なわれている競技で、富山で最初に取り

組んだ競技です。

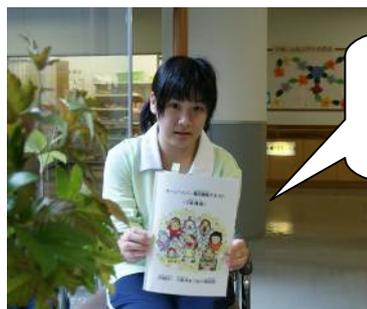
アルペンスキーとスノーシューイングは、極楽坂スキー場で行います。共に、1日に、午前と午後の2回分のトレーニングを実施します。全くのスキー初心者でも1シーズンで滑れるようになるアスリートもいます。

職場でがんばるアスリート

常木くるみさん(介護老人保健施設レインボー勤務)

ボウリングに参加している常木くるみさんが勤務するのは、社会福祉法人とやま虹の会「介護老人保健施設レインボー」。利用者さんとその家族が安心して介護やリハビリができるようにサポートする施設です。常木さんはここで、掃除や洗い物などの環境整備や、音楽療法などのリハビリやレクリエーションのサポートを行っています。働き始めて5年目、今年からは後輩もできました。

一緒に働きながら常木さんを支え、障害者雇用にも携わっていらっしゃる社会福祉主事の



ホームヘルパー3級のテキストです。ただいま勉強中！



折田直子さんは、「常木さんは車イス、手すり、スリッパなどを丁寧に隅々まで拭いてくれます。利用者さんがどうしたら喜んでくださるかを常に考えて仕事をする姿勢には学ばされます」と、温かい笑顔で話されます。常木さんは今、ビーズで指輪やストラップを作っています。「利用者さんのお誕生日にプレゼントし、喜んでもらいたい」との、常木さん自身のアイデアです。仕事を通じて、皆を笑顔にする常木さんです。



常木さん(下)と折田さん(左)、吉田さん

連絡先 社会福祉法人 とやま虹の会
「介護老人保健施設レインボー」
場所 富山市水橋新堀1
TEL 076-478-4784

■ 賛助団体の紹介

富山県バスケットボール協会

富山県バスケットボール協会は、ミニバスケットボールから一般、マスタースまで幅広い年代層の活動を支援しています。バスケットボールは屋内競技ですから、毎週、県内のどこかで県大会や地区大会が行なわれていて、一年間を通じて活動しています。その年間予定を、毎年4月の評議員会で事業計画や予算などと一緒に決めるほか、8の委員会と4の専門部が活動しています。



協会は、公式審判員の養成にも力を入れています。日本公認のAA級、A級審判員も在籍していて、県大会や県予選に審判員を派遣します。協会では、試合中における審査や研修会を通じて、審判員の技術向上を図っています。参加チーム数が多くなる県大会などでは、どうしても複数会場での開催が必要となり、審判員の確保と配置が大変になります。

山崎均理事長は、支援学校での体育授業やS0の活動に接してみて、「知的発達障害のある人は、相手と自分や、ゴールと自分などの距離感をつかむのが苦手なよう」とおっしゃいます。また、保護者が安全面を考慮して比較的大切に育てることもあってか、小さな頃から身体的な接触に慣れていない傾向が見受けられ、障害児であっても、できるだけ健常の子と交流できる場で過ごさせることに意味があると、おっしゃっています。



山崎均理事長

■事務局から

■同封物について

プログラム説明会は開催しないことにしました。参加手続きは、①メールで申し込むこと、②参加料を振り込むこと、の2つの手続きを、参加予定のトレーニングの開催月の2ヶ月前の月の月末までに完了してください。詳しくは、水内副会長の南カリフォルニア訪問記と併せて同封の資料を参照ください。

■定期的な賛助をお願いします

特にファミリー会員には、以前から定期的な賛助をお願いしています。「あ、そうだった。忘れていた」って方、いらっしゃいませんか？ いまからでも遅くないですよ。また、近所の方や職場の知人、取引先のお客様や協力会社の社員の方々から、一人でも多くの「スペシャルオリンピックスを応援くださる賛助会員」を誘っていただくよう、お願いします。

<賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様(2011年7月1日~2011年11月30日)>

敬称略

五十嵐 務	上 隆義	坂野上 満	寺畑 雅英	中山 スミエ	本間 一正	山岸 明子
石井 純	川瀬 孝義	佐々木啓三郎	戸田 明里	奈辺 賢治	松田 智至	山崎 優介
石井 郁子	北川 登貴	佐々木 陽子	戸田 薫	奈辺 晴美	三上 恵美子	横井 一成
市田 露子	北川 文子	柴田 真成	戸田 一郎	奈辺 隆	三上 裕之	両角 良子
上濃 良重	北川 英一	柴田 万希子	鳥内 禎久	野畑 晴美	三松 隆之	腰田 恵子
大角 拓海	木村 聡子	素谷 孝子	長久 慎吾	林 知佳	宮下 陸也	渡辺 守人
大坪 敏彦	下条 昌輝	素谷 宏	長久 栄子	福島 朝子	宮下 洋子	
小川 隆	下条 由季子	高畑 広美	長久 満	福島 亘	宮野 光正	
荻生 明美	下条 竜一	高畑 武志	中山 真美	福島 久美子	宮野 明美	
小野寺久美子	小坂 良夫	田口 美里	中山 育子	福島 茂次	村上 朝子	
金山 敦	五本 幸正	田口 靖子	中山 正之	福島 志美子	森田 とみ糸	
上 文佐乃	佐伯 秀彦	田口 昌宏	中山 正詞	福田 孜	森田 英男	
あかりハウス	小栗小児科医院		くぼ小児科クリニック		渋谷クリニック	
日本海ガス株式会社	㈱藤井産業		北酸株式会社		有限会社 ラド	
ソニー生命保険㈱金沢支社富山営業所		社団法人富山県手をつなぐ育成会			富山県バスケットボール協会	

ありがとうございました。

賛助金・寄付金振込先

スペシャルオリンピックス日本・富山
(日本は、「ニッポン」としてください。)
北陸銀行本店(店番 101)、普通口座 5308370
ゆうちょ銀行 00720=0=38833

賛助金

<個人> 一口 3,000円
<企業・団体> 一口 10,000円

※お問い合わせは、SON・富山事務局あてメールもしくはファックスをお願いします。

私たち富士ゼロックス北陸(株)は、
スペシャルオリンピックス日本・富山の活動を応援しています。

Kids' ISO 14000 プログラム

Kids' ISO14000プログラムは、家庭の身近な省エネ活動を通じ、自ら進んで環境保全活動に取り組める子供を育成することが狙いです。

私たち富士ゼロックス北陸は、この趣旨に賛同し、以下の活動を行っています。

◎ 地域から信頼され、社会に対する責任の一端を担うために、
近地域の小学校におけるプログラム実施をサポートしています。

◎ 『Kids' ISO14000プログラム』活動をサポートする
ボランティアスタッフや採点サポーターを育成しています。

FUJI XEROX



富士ゼロックス北陸株式会社

富山事業所/富山市新桜町 5-3

TEL: 076-431-2121